

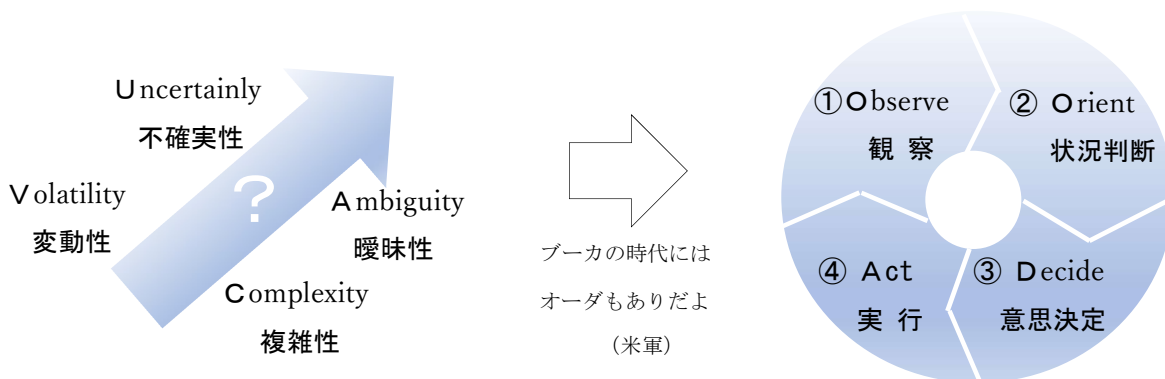


今回の話題は教養です。近年、教養の大切さが様々なところで指摘されています。ふくろう通信では、これからの時代は、美意識を基準にして新たな価値を創り出す力が求められる、という話をしてきました。今、教養が注目される1つ目の理由は、教養が美意識を鍛えてくれるからです。歴史や宗教、哲学、芸術などで身につく幅広い教養は、人の行動や心の動きについて洞察力を育て美意識を鍛えてくれます。古代ギリシャでは、人間が束縛から解放され自由に生きるためには教養が必要だと考え、それらをリベラルアーツ（自由になるための技術）と名付けました。リベラルアーツを重視する考え方は欧米のエリート層に根付いており、特にリーダーには教養が求められます。日本経済界きっての教養の持ち主とされる出口治明氏によると、日本のリーダーは欧米のリーダーに比べて教養が大幅に不足しているそうです。

教養が注目される2つ目の理由は、社会変化や市場競争の激化です。最近の社会変化の激しさを表す、VUCA（ブーカ）という言葉があります。これは、Volatility（変動性）、Uncertainly（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取ったものです。VUCAの時代には、すぐ役立つ学問（実学、How to）は、すぐに役に立たなくなります。少し視点が変わりますが、問題解決の定石であるPDCAサイクルも、VUCAの時代には時間がかかり過ぎるという事で、より迅速に対応するためのOODA（オーダ）ループというものが米軍によって提唱されています。こちらは、Observe（観察）、Orient（状況判断）、Decide（意思決定）、Act（実行）の頭文字を取ったものです。

ここまで、ビジネス界の視点を中心に話を進めてきましたが、教育界では中教審が「新しい時代における教養教育」という答申をしています。これは、「教養とは何か」「なぜ必要か」「教養を高めるにはどうすべきか」等について述べており、教養に関するよい資料となっています。また注目すべきは、教養は生涯に渡って高めていくものであるとし、教養教育の重要性を広めるためにも、教員が率先して自らの教養を高めていくことを求めている点です。（文科省HP参照）

歴史的な転換期・変革期にあって、一人一人が自らにふさわしい生き方を実現するために必要な教養を再構築していく必要がある。（平成14年 中教審答申より抜粋）



私のような大学を出ていない年をとった無知な女でも、まだ道端に咲いている花の名前を一日に一つぐらいは覚えることができる。一つ名前を知れば、世界の謎が一つ解けたことになる。その分だけ人生と世界は単純になっていく。だからこそ人生は楽しく、生きることは素晴らしい。

ココ・シャネル

参考図書（まずは解説書から入るのがよいと思います。）

### 「リベラルアーツ」

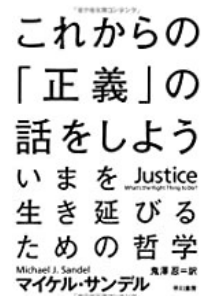
～自由になるための技術～ 山口周



歴史、宗教、論理等、各界を代表する知識人との対談集。多角的な視点から教養の重要性が語られます。

### 「これからの正義の話をしよう」

～今を生きるための哲学～ マイケル・サンデル



もはや古典？となりつつある本書。教師の仕事って正義と向き合いますよね。飲茶さんの本と合わせて読むと理解が深まります

### 「正義の教室」

～30人の幼児と自分の娘どちらを助ける？～ 飲茶



マンガチックな表紙と違って中身はハイレベル。この筆者すごいと思います。

### 「史上最強の哲学入門」

～東洋の哲人たち～ 飲茶



この本すごいと思います。高校生の時に出会いたかった。西洋哲学編もあります。

### 「座右の古典」

～今すぐ使える50冊～ 鎌田浩毅



京都大学教授が厳選した50冊の古典。ここから興味のままに選ぶのがよいかと。

### 「ファクト・フルネス」

～思い込みを乗り越え世界を正しく見る～

ハンス・ロスリング他



世界的ベストセラー。私達が知らぬ間に陥るバイアスに気づかせてくれます。世界の見方が変わります。SDG'sの前にぜひ一読を。